

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成 1 9 年 4 月

(平成 1 9 年 3 月末調査)

平成 1 9 年 4 月 1 6 日

長野県岡谷市郷田二丁目 1 番 8 号

諏 訪 信 用 金 庫
経 営 相 談 室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0 2 6 6 (2 3) 4 5 6 7

FAX 0 2 6 6 (2 3) 8 0 4 4

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【2月】	諏訪公共職業安定所管内	1.35倍	0.05ポイント	
	岡谷公共職業安定所管内	1.83倍	0.17ポイント	
手形交換高【3月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	9,926枚	26.0%	
	金 額	10,744百万円	32.2%	
	うち不渡り発生状況	枚 数	1枚	5枚
		金 額	2,000千円	1,827千円
車庫証明取扱件数【3月】(諏訪・岡谷自動車協会管内)		2,034件	5.6%	
新設住宅着工件数【18年4月～19年2月】(諏訪管内)		1,793戸	119戸	

地域の概況

製造業

自動車関連部品の下請企業の受注は一部に減少した企業がみられるが、高水準の生産を続けている企業も多く総体では幾分増加している。デジタル一眼レフカメラ関連企業は、引続き受注旺盛な企業が多い。輸送機械、産業機械などの受注は企業により区々となっているが、総体では幾分減少している。電気器具は、年度末を迎え一部に生産調整からピーク時より受注が減少しているところが見られる。金属製品加工は、一部に増産している企業もみられるが総体では昨年秋に比べ受注は幾分減少している。音響機械部品は、金型などの受注回復が幾分遅れているところもみられる。

製造業全体としては、自動車及びデジタル一眼レフカメラ関連企業は堅調な生産状況となっているが、総体では受注が幾分弱含みとなっており業況は踊り場となっている。例年の傾向では、4月から受注が回復しているが今年は幾分遅れ気味とみる企業が多い。

商業

諏訪地方の3月の天候は上旬に暖かい日が続いたものの、中旬以降は寒の戻りで気温の低い日が続いた。寒暖の差の大きい月で、衣料品のほか食料品の販売も影響を受けた。

食料品は、天候によって売れ筋商品がめまぐるしく変わり対応に苦慮したという店舗が多くみられたが、売上高ベースでは前年並みを維持している模様。

衣料品は、気温の低い日が多かったことから春物衣料品の動きは弱かった。また、寒い日には冬物衣料品を買い求める消費者もいたが、品揃えを春物衣料品にシフトしているために売上の機会損失があったという店舗もみられた。

大型家電店は、薄型TVの動きは好調であり、携帯電話や新生活関連商品の売れ行きも堅調であった。

ホームセンターは、寒の戻りから園芸資材などの動きは幾分低調となったが、新生活関連商品の動きは良かった。

観光業

宿泊客数は、特別企画やイベントを実施して伸ばしているところも多いが、総体では個人スキー客の減少などから前年並みの模様。

春の観光シーズンに向けNHK大河ドラマ「風林火山」に関連した観光コースの整備や食事の特別メニューの発表も本格化するなど今後の期待は大きい。

上諏訪温泉のホテル・旅館の宿泊客数は増加しているところが多いものの、飲食部門の減少や宿泊単価の下落から売上高ベースでは対前年比微増に留まっているところが多い。

蓼科・白樺湖・車山方面は、施設により増加減少区々であるが、県内他地域の雪不足により関西方面等からの春休みスキー教室が当地へ変更になり集客が増えたところもみられる。

下諏訪温泉の宿泊客は、増加減少区々であるが総体では前年同期を上回ったところが多くきかれる。

諏訪大社（上社・下社）の参拝者数は50,770人で前年同期比5,417人増加した。下社は、近隣の観光地からの団体客の参拝が多くなっている。

建設業

市町村の3月の発注工事は53件218百万円で、諏訪市と岡谷市で保育園新改築工事があった前年同月比では494百万円の減少となったが、土木工事は前年同月比131百万円の増加となっている。

県の3月の発注工事は19件352百万円で、平成18年4月～平成19年3月の累計契約額は7,783百万円と前年同期累計比では4,259百万円増加した。

民間工事は、2月の新設住宅着工件数（マンション含む）は156戸で前年同月比63戸増加した。平成18年4月～平成19年2月の累計着工件数は1,793件で、前年同期累計比119戸減少している。

建築工事は、社屋や工場の新築案件に動きが出ている。土木工事は、災害復旧工事の受発注が堅調である。

雇用

2月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所1.35倍、岡谷公共職業安定所1.83倍で、諏訪地域の有効求人倍率は1.52倍と全国（1.05倍）及び長野県（1.25倍）を上回っている。

諏訪職安と岡谷職安を合わせた2月の新規求人（全数）は、1,537人で前月より43人減少した。

諏訪地域の有効求人倍率は、平成15年10月以降41ヶ月連続して1倍を上回っている。

当金庫から見た需資動向に大きな変化はみられない。

業界別動向

1. 電気機械

- プリント基板 受注状況は企業により増加減少区々であるが、総体では幾分弱含みの状況となっている。
- コンデンサー 自動車用コンデンサーの受注は増加傾向である。
- プリンター 下請企業の受注状況は区々で、部品加工の受注が増加したところもみられる。大型プリンターの生産は順調に推移している。
- コンダクター・リレー 受注は幾分増加しており堅調な生産が続いている。

2. 輸送用機械

- 自動車 国内メーカーは安定した生産を続けており、下請企業の中には一部に受注が減少したところもみられるが総体では安定している。
コストダウン要請は引続き行われている。
- ピストンリング・シリンダーライナー メーカーは順調な生産を続けており、下請企業の受注は安定している。
受注が増加したところもみられる。
- 船外機 下請企業の受注は旺盛であり高水準の生産を続けている。

3. 一般機械

- 工作機械 自動車関連部品の加工機械は引続き堅調であるが、国内向けの受注状況に幾分弱含み感がきかれる。
- 専用機・省力機器 現状は高水準の生産を続けているところが多くみられるが、大手企業からの受注引き合いは幾分減少している。
- 搬送用機械 食品関連企業からの受注は安定しているが、デジタル家電関連企業の受注は幾分低調となっている。
- 金型 情報機器の受注は機種により増減区々となっているが、医療機器等の受注が堅調なところがみられる。
- アルミダイキャスト 自動車部品の外注企業の受注に幾分弱含みのところがみられるが、総体では前期並みとなっている。

4. カメラ・レンズ

- デジタルカメラ 全国のデジタルカメラの2月の生産台数は572万台で、前月比34.9%増、前年同月比14.3%増となっている。2月の出荷台数は国内出荷82万台、海外出荷465万台で、出荷台数全体では前月比35.6%増、前年同月比11.6%増となっている。(カメラ映像機器工業会)
デジタル一眼レフカメラ関連企業は堅調な生産状況となっている。

プロジェクター メーカー各社の海外生産比率の高まりを受け、地域企業の受注は減少している。

レンズ ガラスレンズの生産は海外が主体となっており国内の生産規模は縮小しているが、幾分受注が増加した企業もみられる。

5. 織 維

ニット 全国的に2月は記録的な高温で3月は一転して低温になるなどの不順な天候から、衣料品の売れ行きは低調でメーカーにも影響が出ている。夏物の生産時期を迎えているが、ゴールデンウィーク前が納期の季節のニットの生産が高水準で繁忙のところもみられる。

6. 食 品

寒天 業者向け出荷は安定的に推移しているが、一般消費者向けは幾分弱含みである。茅野市では、市民モニターの協力により健康効果を測定し高脂血症や高血糖の改善効果が期待できると考察された。

味噌 出荷は、平年並みとなっている。

7. 製 材

諏訪地方の2月の木造住宅着工件数は64戸で前年同期比3戸増加した。木材の国内需要は低調であるが、建材は高値圏内ではあるが堅調に動いている。

8. 建 設

公共工事 3月に地元業者が受注した県関係公共工事は、発注機関別では諏訪建設事務所17件、林道治山工事関係1件、土地改良工事関係1件の合計19件、契約金額352百万円となっている。平成18年4月～平成19年3月の累計契約額は7,783百万円で前年同期累計比では4,259百万円増加した。

市町村の3月の発注工事は、建築工事12件46百万円、土木工事・下水道工事など38件168百万円、その他工事3件4百万円の合計53件218百万円となっている。前年同月比では494百万円の減少となっているが、前年度は諏訪市・岡谷市の保育園新改築工事があったが、本年度は大型案件がなかったことから建設工事が大幅に減少した。土木工事は、前年同月比131百万円の増加となっている。

民間工事 2月の新設住宅着工件数（マンション含む）は156戸で前年同月比63戸増加した。平成18年4月～平成19年2月の累計着工件数は1,793件で、前年同期累計比119戸減少している。建築工事は、社屋や工場の新築案件に動きが出ている。

9. 商業

諏訪地方の3月の天候は上旬に暖かい日が続いたものの、中旬以降は寒の戻りで気温の低い日が続いた。寒暖の差の大きい月で、衣料品のほか食料品の販売も影響を受けた。

衣料 気温の低い日が多かったことから、春物衣料品の動きは弱かった。
また、寒い日には冬物衣料品を買い求める消費者もいたが、品揃えを春物衣料品にシフトしているために売上の機会損失があったという店舗もきかれた。

食料品 暖かい日にはそばや飲料、寒い日には鍋物食材が売れるなど、天候によって売れ筋商品がめまぐるしく変わり対応に苦慮したという店舗がみられた。売上高ベースでは、各店とも前年並みを維持している模様。

家電製品 薄型TVの動きは好調であり、携帯電話や新生活関連商品の売れ行きも堅調であった。

自動車 諏訪・岡谷を合わせた3月の車庫証明件数(軽自動車除く)は、2,034台で前年同期比 5.6%となっている。また、軽自動車の3月の新車販売台数(諏訪地方合計)は636台となっている。

ホームセンター 寒の戻りから園芸資材などの動きは幾分低調となったが、例年は値下げ販売となる暖房器具等の動きが好調となった。
新生活関連商品の動きは良い。

デパート ホワイトデー関連商品では、高級品の売れ行きがよかった。

10. 観光

宿泊客数は、特別企画やイベントを実施して伸ばしているところも多いが、総体では個人スキー客の減少などから前年並みの模様。

春の観光シーズンに向けNHK大河ドラマ「風林火山」に関連した、観光コースの整備や食事の特別メニューの発表も本格化するなど今後の期待は大きい。

上諏訪温泉 宿泊客数は増加しているところが多いものの、飲食部門の減少や宿泊単価の下落から売上高ベースでは対前年比微増に留まっているところが多い。3月時点ではNHK大河ドラマ「風林火山」による集客効果はまだ大きくないが、今後の観光シーズンへの期待は大きい。

蓼科・白樺湖・車山 施設により増加減少区々であるが、県内他地域の雪不足により関西方面等からの春休みスキー教室が当地へ変更になったことから集客が増えたところもみられる。

下諏訪温泉 宿泊客は、増加減少区々であるが総体では前年同期を上回ったところも多くきかれる。

諏訪大社 上社・下社合わせての参拝客は50,770人で、前年同期比5,417人増加した。下社は、近隣の観光地からの団体客の参拝が多くなっている。